

# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に5月に実施された全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

## ＜学力に関する調査結果＞

- ・国語の正答率は、全国平均をやや上回りました。正答数は14問のうち9.5問で、全国平均を上回りました。「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域の問題がよくできていました。しかし、「読むこと」領域の問題や短答・記述式の問題の正答率が低く、特に、条件に合わせて文章で表現する力が弱いことが分かりました。今後、条件を理解し適切に表現する指導の充実を図ります。
- ・算数の正答率は、全国平均を大きく上回りました。正答数は16問のうち12.3問で、全国平均を上回っており、学力が定着していることが分かります。どの領域の問題も全国平均を超えています。判断したり考察したりする問題の正答率がとても高い一方、場面を想定して立式したり計算したりする問題の正答率はやや低かったため、今後重点的に指導していきます。



## ＜生活習慣や学習環境等に関する調査結果＞

- ・基本的な生活習慣が整っており、計画的に家庭学習をしたり、メディアの使用時間やきまりを守ったりしている児童が多かったです。
- ・「自分には、よいところがあると思う」という質問には、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ児童が多く、自己肯定感が高いことが分かります。
- ・「将来の夢や目標をもっている」という質問では、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ子どもがやや少なかったです。
- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」という質問では、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ児童が少なく、言葉で表すことを苦手と感じている児童が多くいることが分かりました。

## ＜結果をふまえて＞

- ・基礎・基本の確実な定着と思考力・表現力の育成を図ります。Web配信問題やワークテストは、これからも、県平均や全国平均（期待得点）を上回ることを目指して指導します。全国学力・学習状況調査の対象学年である6年生だけではなく、全職員で連携し全校体制で取り組みます。



- ・毎日の授業で、友達と協力して学ぶことを取り入れます。友達と学び合う活動を通して、より深い学びになるよう努めます。
- ・さくら班などの縦割り班活動を中心に、友達同士互いに助け合う気持ちを育てていきます。